

Case 20

環境マネジメントシステムの取得をきっかけに加速した脱炭素経営

1. 主な取組と効果

- ・エコアクション21の取得により、**公共工事の入札で加点**が得られ、**受注確保**に向けた体制を整備！
- ・省エネ対策を推進し、**電気使用量、CO₂排出量、電気料金を削減**！
- ・岩手県産クレジットの購入、環境整備活動等を通じて**地域貢献を推進**！

クレジット購入量

省エネ効果



計40t-CO₂



**電気使用量・CO₂排出量11%、
電気料金20%削減**

2. 取組の経緯



環境整備活動の様子

事業者名：株式会社総合土木コンサルタンツ
(専門・技術サービス業)



- ◆業種 測量業
- ◆住所 一関市萩荘字金ヶ崎33-1
- ◆TEL 0191-24-2487
- ◆従業員数 30名
- ◆事業概要
測量、建設コンサルタント、地質調査業 等
- ◆URL <https://www.sogodoboku.co.jp/>



①知る ②測る 取組の経緯

- 公共工事が当社業務の約90%を占めることから、**入札時の総合評価で加点**となる**エコアクション21の認証取得**を目指し、受注確保に向けた体制整備を進めた。
- 令和3年、エコアクション21の申請を見据え、「環境経営方針」を制定。
- 排出量算定はExcelで管理し、請求書到着後に速やかに入力する運用を定着させた。
- 令和5年、「エコアクション21」の認証を取得。年1回環境レポートを作成し、取組の成果を社内で共有している。

③減らす 取組の内容

- すべての照明をLEDへ更新。
- 5R**の実践
(シュレッダーごみのリサイクル、古着の寄付等)。
- 国補助金を活用して**PHV車を導入**。
- 県内で創出されたJ-クレジット、Jブルークレジット**を購入。



※「5R」
当社の取組は、Reduce(発生制御)、Reuse(再使用)、Repair(修理)、Recycle(再生使用)、Refuse(断る)。
写真は、「社内で回収した寄付する古着」。

④メリット 取組によるメリット

- 認証取得による公共工事での加点を確保。
→**優位性の構築**。
- 令和7年「できることからECOアクション」**脱炭素経営大賞受賞**。
→**メディア露出の増加による知名度・認知度向上**。
- 脱炭素による取組効果の社内共有、県産クレジット購入・環境整備活動等を通じて**地域貢献を推進**。
→**社員のモチベーション向上**。
- PHV導入時の国補助金活用、金融機関からグリーンローン等の提案機会増加。
→**好条件での資金調達**。

※「PHV(プラグインハイブリッド車)」
搭載したバッテリー(蓄電池)に外部から給電できるハイブリッド車。

本事例では外部認証を取得し、知名度・認知度が向上したよ！



(事業者の声) 株式会社総合土木コンサルタンツ 代表取締役 佐々木 知徳 様

地球温暖化が進む中、SDGsやカーボンニュートラルへの取組はますます重要となっています。弊社ではサステナビリティの一環として、今後も「学びから実践へ、そして持続へ」というサイクルを一層強化し、SDGsの達成や二酸化炭素排出抑制に積極的に取り組んでまいります。

また、全社員が一丸となり、地域と共に持続可能な発展を目指してまいります。弊社の取組が環境経営のヒントやきっかけとなり、岩手県全体に環境経営の取組が広がることを願っております。

